

公共事業環境配慮実施報告書

建設部 砂防課

事業名称		達成状況の評価
事業名	火山砂防事業	A
整理番号	23-9	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	砂防堰堤の建設	
市町村名	北安曇郡小谷村	
箇所名	(砂)柵池沢(千国乙12844-2他)	
事業年度	平成23年度～令和3年度事業	
		配慮した項目 21 = 100%
		配慮する全項目 21
事業概要		
目的	砂防堰堤の設置により、下流域の人家や公共施設、道路等の保全を図る。	
事業概要	砂防堰堤 1基(柵池沢堰堤H=14.5m L=178.0m)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	・適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	・適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	・適正に実施
	・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	・適正に実施
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	・適正に実施
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	・適正に実施
	【水循環の保全】	
・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。	・適正に実施	
地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	・適正に実施
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	・適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	・適正に実施
	・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	・適正に実施
野生動植物	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・動物の移動経路の分断をできる限り避ける又は新たな移動経路を確保する。	・適正に実施
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負担の少ない構造を検討する。	・適正に実施	
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変をできる限り避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	・適正に実施
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	・適正に実施
	【良好な景観の育成】	
・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。	・適正に実施	

廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	・適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	・適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	・適正に実施
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	・適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	・適正に実施